
開講科目名：資産税法実務研究 (2単位)

開設年次：1年 2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：浅野 洋

《授業の概要》

授業の内容

(1) 授業の目標

資産税全般について基礎知識の習得と実務への適用について、具体的事例を参考にして授業を進める。

(2) 授業の概要

資産税は相続税・贈与税(相続税法に規定)と譲渡所得(所得税法に規定)にまたがっていることが特徴の一つといえる。しかし、これらの各税目ごとの学習だけでは、資産税全体を理解するには不十分だと思われる。そこで、本講では各税目の個別の項目の説明に際して、他の税目との関連があれば説明を加えることとする。相続税が所得税の補完税といわれていること、贈与税が相続税の補完税とされていること、譲渡所得と贈与税の関連などについても、その都度、説明を試みることにする。

また、毎年税制改正が行われるが、重要な改正点があれば、これについても説明する。

(3) 授業の内容

1. 資産税、特に相続税法(相続税・贈与税)の条文に基づいて解説し、法体系の習得を試みる。

2. 裁決事例等の実例解説を通して資産税実務の検証を試みる。

3. 講義の終了に際し、受講者の習熟度を計るためペーパーテストを実施する。

(4) その他

2. 評価方法

期末に理解度を測るための簡単なテストを実施し、出席率を勘案して単位を与える。

《テキスト》

税金のすべてがわかる「現代税法入門塾」石村耕治 編 清文社

《参考書》

なし